

新春号 (一社) 神事協 よこはま

2019.1. No.12



運河パーク

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 横浜支部
<https://www.kkj-yokohama1.jp>
E-mail : yokohamashibu@kkj-yokohama1.jp

Contents

- 新春のごあいさつ…02
- 年末報告会を終えて…02
- 日事連全国大会…03
- 秋のスポーツ大会…03
- 横浜市総合防災訓練…03
- 企画委員会報告…04
- 景観まちづくり専門委員会報告…04
- 横浜支部 会勢報告…04

新春のごあいさつ

支部長 小渡 佳代子

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい平成31年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。昨年は震災と異なった様々な災害に見舞われ、地球の歴史では経験したこともありませんが、建築に対する概念が変わりました。人口減少・少子高齢社会の中で、設計事務所業界の業務の質も激変してきました。

今まで支部の魅力づくりは設計事務所の魅力づくりとして「建築しごと展」・「相談窓口の充実」・「公との連携」を行ってきましたが、形となって実ってきたことを年末報告会で実感しました。ひとえにご支援、ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

横浜支部は、神事協体制の1/3を占め、常に新しい課題の研鑽や設計事務所としての業務支援の活動、他支部との連携や次世代に継ぐ活動、日事連との関係も年々新しく進化してきました。日事連・神事協のアンケート調査分析、支部の分析は活動を更に魅力的に展開する企画に生かしたいと思っています。活動は日事連「憲章」を基軸に、社会貢献事業を多面的に展開し、市民の豊かな暮らしへの建築への価値の向上がコミュニティの醸成につながり、それは環境問題や人の豊かさ幸福感に私たちの業務が貢献

できれば嬉しいと願っています。

一方、ITの時代だからこそ、人と人の「クロッシング・トーク」が重要になってきました。災害がない事を願っていますが、先日参加したグループワーク（行政・建設業・神事協）で、戸数を優先した場合とコミュニティに配慮した配置計画の数が、それほど差異がなかったことはひと手間かけて多様な人が知恵を出し合う魅力を感じました。しかしそれには影の準備の力も大きいことを報告します。

今年は支部活動の一つであるブロック活動が「クロッシング・トーク」の場となり個々の業務のイノベーション改革に寄与したいと思っています。ブロックを超えた参加、異業種も歓迎、参加して話を聞き自分も楽しく話す。飲み会、食事会とは異なった場で、さまざまな建築に絡む建築を愛する人たちが化学反応を起こすと期待しています。しごと展の期間中「バナキュラーな建築」を企画しました。デジタルバナキュラーと比較する楽しみもあります。新しい年の活動に、引き続きご支援ご協力をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年末報告会を終えて

副支部長 志村 亥三六

平成30年度横浜支部年末報告会は“クルーズクルーズ YOKOHAMA”に於いて12月3日（月）18:00～19:00に行われました。

小澤副支部長の開会の辞で始まり小渡支部長より皆様への感謝の挨拶のあと、白井会長の挨拶がありました。挨拶の中で横浜支部の会員数は神奈川県全体の三分の一を占めているので横浜支部が元気だと神奈川県全体元気になるので頑張してほしいとのエールを戴きました。

30年度中間報告では本会事業として「景観まちづくり専門委員会」と「未来に繋げる事業専門委員会」の報告がありました。「景観まちづくり専門委員会」は梅原副支部長より映像を通して調査内容を判り易く説明されました。「未来に繋げる事業専門委員会」は山口副支部長がアンケートの結果報告を円グラフにしてこれからの活動について熱っぽい報告がありました。支部事業では事業報告を志村がおこない、決算報告が千賀副支部長よりあり、2月11日～17日に行われる「建築事務所のしごと展」の内容について山口副支部長より説明がありました。「建築事務所のしごと展」は支部事業の中核を成すもので、多くの会員の参加をお願いしたところです。次にマンション・団地コ

ーディネーター派遣事業概要について古居委員より報告がありました。又、相談事業概要について小渡支部長よりそれぞれの相談事業内容の報告がありました。

最後に梅原副支部長の報告者へのねぎらいの閉会の挨拶があり閉会しました。

引き続き懇親会となり、小渡支部長の挨拶のあと、小澤副支部長の乾杯音頭により始まりました。新しく入会した二人が紹介されそれぞれ抱負を話すと会場から祝福の拍手が起きました。和気藹藹の交流の中、お楽しみ品のビンゴゲームでは一等賞に“かに”が賞品となり参加者より羨望の眼差しが注がれました。中締めは磯田監事が事務所協会の益々の発展と参加者のご健勝を祈念して音頭を取り、和やかな雰囲気の中に散会しました。

報告会の司会をいただいた遠藤様、懇親会で司会をいただいた永野様、ご参加の皆様にご心より感謝申し上げます。



支部事業報告



懇親会風景

日事連全国大会

10月5日(金)帝国ホテルで第42回建築士事務所全国大会(東京大会)が開催されました。

「未来に繋ぐ」をテーマに、青木茂氏の「リファイニング建築が社会を変える」の基調講演が行われました。再生建築の手法により、内外間とも新築同様の仕上がり、新築の7割程度の工事費、用途変更も可能で廃材をほとんど出さず環境にやさしいことをあげられました。

パネルディスカッションでは「建築が変わる/仕事が変わる」と題して、青木氏に加え、小林範子氏の女性として建築事務所の経営する立場から、石澤幸氏のITを活用した建築技術の在り方について活発

に議論されました。印象的だったのは女性会員数で神奈川が全国2位の51名で東京の53名に次ぐものでした。

また、青年話創会が若手会員150名の参加で意見交換を行っていました。来年は福島で行われる予定です。



講演、パネルディスカッション



記念パーティーにて

副支部長 小澤 勝美

秋のスポーツ大会

去る10月20日に秋のスポーツ大会が行われました。いつもはボウリングなどが行われてきましたが、今回は江の島スタンプラリー。朝8時に江の島水族館脇の広場に集合。我が横浜支部はわずか7名2チームの参加。今回は試合ではないので募集も緩かったようです。青銅の鳥居をくぐって仲見世通りから江島神社に、ここで最初のスタンプです。時間的に人は少なく、ほとんどが神事協会員でした。この後はエスカレーターを乗り継いで展望灯台へ、天気は少し曇りがちでしたが、360°の眺望は素晴らしかったです。そして江の島岩屋へ、この往復の上り下りがだいぶ足にきました。ゴールのヨットハウス脇の広場へ向かう頃に

は大勢の人出、外国人が多いです。11時半頃にゴール、最初はウォーキング？スポーツ大会なのに？と思いましたが、十二分にスポーツ大会でした。



横浜支部Aチーム



展望灯台からの眺望

副支部長 千賀 浩一

横浜市総合防災訓練

あいにくの小雨の中、恒例の防災訓練となりました。天気の影響か昨年より参加者が少なかったようです。横浜市の要請で、当会からは、3名が参加しました。シェイクアウト訓練、避難・救出・救護訓練(市民)、初期消火訓練、ライフライン復旧訓練など15の訓練が行われました。

その中の応急危険度判定訓練を、横浜市建築士事務所協会、JIA神奈川地域会の方々と共に、会場に設置された模型の建物の判定訓練を行いました。

この訓練は市民、町の防災組織、事業所、防災ボランティア、防災関係機関の連携の強化と市民の防災意識の向上を図ることを目的としています。

年に1度の訓練は、九都県市合同防災訓練としても位置づけられています。

県下の防災関係機関等が集結し、大規模な防災訓練となっていますが、若者の参加が少ないのが残念でなりません。

西ブロック長 雨森 隆子



応急危険度判定訓練を終えて

企画委員会報告

副支部長 山口 英生

去る11月12日※1と12月14日※2に企画委員会傘下の技術専門委員会の企画により、BIM勉強会が行われました。BIMについては既に企業や現場で本格活用されていますが、個人事務所などではまだまだ導入に躊躇されている方も多いと思います。果たして自社の案件に必要なのか、今からソフトの勉強をして体得できるのか、そもそも掛けた分の費用を取り戻せるだけの導入メリットがあるのか、エトセトラ、悩みましたらキリがありませんよね。

そんな皆さまに向けて、2月20日(水)※1、3月6日(水)※2の2回、再び講習会を行います。年始にあたってエイヤッと新しいことにチャレンジしてみるのもいいかもしれませんね!!

協力ソフト：

- ※1) グローブ/福井コンピューター(株)
- ※2) アーキキャド/グラフィソフトジャパン(株)



BIM 勉強会風景



VR 体験風景

景観まちづくり専門委員会報告

副支部長 梅原 義信

景観まちづくり専門委員会は16名の委員からなり、そのうち横浜支部は私を含め、5名が所属しています。委員会活動としては景観整備機構になるための準備と業務があり、具体的には以前行った行政庁へのアンケートで景観整備機構に前向きな市町村に対し、まち歩き、各種調査、勉強会等を行っており、2018年8月には相模原市より景観整備機構に指定されました。

また、安全な道空間の景観資源利活用調査事業をおこなっており、県内で6箇所の調査対象地を決め、その中で、横浜支部5名が調査し、まとめているのが石川町の元町通りと堀川の間にある「河岸通り」です。

華やかでおしゃれな元町通りと衛生面でもまだ問題がある堀川、そしてその上を走る高速1号線、休憩スペースが無く、店舗の入口も少ないこの通りの現状分析と活性化のためのアイデアをまとめています。



浦賀道探索



景まち第3回検討会

ようこそ ■平成30年6月2日から平成30年12月11日までに入会された事務所の方々				ブロック長さん・地区長さん新入会員です。宜しくお願い致します。	
地区名	氏名	事務所	〒	住所	
中	小田原 勉	小田原事務所一級建築士事務所	231-0843	横浜市中区本郷町3-167	
港南	伊丹 勇司	㈱エールハウス 一級建築士事務所	233-0002	横浜市港南区上大岡西3-19-16	
港南	長濱 行弘	㈱さくら設計工房	233-0004	横浜市港南区港南中央通13-22	

退会 ■平成30年5月から今までに退会された事務所の方々					
地区名	事務所	氏名	地区名	事務所	氏名
鶴見	(有)アサマ建築設計事務所	浅間 三津佳	旭・泉・瀬谷	竹内二級建築士事務所	竹内 俊雄
中	㈱都市・地盤研究所	内山 勝麗	磯子・金沢	森村建築事務所	森村 博
旭・泉・瀬谷	㈱エールコーポレーション 一級都市設計研究所	伊丹 勇司	緑・青葉	栗山建築設計	栗山 定義
			都筑	㈱システムデザイン一級建築士事務所	秋山 芳美

会勢報告 平成30年12月1日現在															
ブロック名	東			中			南			西			北		合計
地区名	鶴見	神奈川	西	中	保土ヶ谷	南	磯・金	港南	旭・泉・瀬	戸・栄	港北	緑・青	都筑		
事務所数	19	24	27	42	5	16	17	15	17	23	24	18	10	257	

発行：平成31年1月新春号 (No.12)
 発行人：小渡佳代子
 発行所：一般社団法人
 神奈川建築士事務所協会 横浜支部
 〒231-0032
 横浜市中区不老町3-12第3不二ビル2F
 TEL.045-226-3551
 FAX.045-226-3552

担当副支部長：梅原義信
 広報情報委員：雨森隆子
 堀池恒史
 事務局：小島寿江